

令和3年第2回定例会一般質問通告事項

<p>6 月 17 日</p>	<p>宮地寛行議員（青嵐会）</p>	<p>質問方式：一問一答方式</p>
	<p>1 PC（パソコン）を用いた勉強スタイルについて</p> <p>(1) 教育委員会職員及び現場教職員の意識改革について</p> <p>ア 千葉県柏市の校長先生は、新しいことを始めるときに、管理職の情報収集と決断、実行力が必要と述べられていますが、尾道市教育委員会はできていますか</p> <p>イ 新しいことを始めるときに、批判される覚悟をお持ちでしょうか</p> <p>ウ 出来ない理由を考える習慣があるという自覚はないでしょうか</p> <p>エ 「どうすればできるのかを考えるのが私たちの仕事」といわれる熊本市教育長の言葉をどう受け止めますか</p> <p>オ アクションを起こそうとしたときに、現場の教職員と教育委員会の意思疎通は十分にできていますか</p> <p>カ また、教育委員会の意思を尊重してすぐに動き出せるという人間関係は構築されていますか</p> <p>キ 現場の教職員も様々だと思いますが、校長の指導力で一枚岩となる小中学校はどの程度あると分析していますか</p>	

<p>6 月 17 日</p>	<p>(2) オンライン授業について</p> <p>ア 全小中学校でのオンライン授業に向けて、尾道市の現状を教えてください</p> <p>イ またいつかコロナの影響で休校になった場合、オフラインをベースに考える授業では限界が来ると考えますがご所見をお聞かせください</p> <p>ウ パソコンを自宅に持ち帰って、ドリルなどの学習ができるまで、どのくらいを考えているのか。タイムスケジュールをお示しください</p> <p>エ パソコンを持ち帰ることができれば、コロナ感染、もしくは濃厚接触等で、14日間の自宅待機を余儀なくされた児童生徒にも、オンラインで授業を聞くだけでもできるのではないのでしょうか。お聞かせください</p> <p>オ コロナ禍での「オンライン保護者会」や「オンライン個人面談」など、仕事や介護などの理由で、学校に来られない保護者はきっと助かると思いますが、そういったことも研究してみてはいかがでしょうか</p>
-----------------------------	--